

	<b>NPO 法人 京都観光文化を考える会</b> <b>都草だより</b>	第77号
		発行人：小松 香織
		編集人：相場まり子
		発行所：京都市上京区 下立売通新町西入 京都府庁日本館2階
		電話：075-451-8146

## ■ 都草講演会「東映 70 年の歩み」



6月18日（日）京都学・歴彩館大ホールで第12回都草講演会が開催されました。参加者は143名。講師は2017年から2020年まで東映太秦映画村の社長を勤めた山口記弘氏にお願いいたしました。現在は東映株式会社経営戦略部フェロー、及び京福電鉄社外取締役として活躍されています。

講演では、日本で初めて劇映画が撮影された1908（明治41）年から戦後1950年代の東映映画全盛時代、60年代からのテレビの台頭と映画の衰退、さらにテレビ時代劇の盛衰を時代を追って解説され

ました。初期の映画で活躍した往年の大スター尾上松之助や阪東妻三郎、嵐寛寿郎から始まり、これまで映画で活躍したスターの写真や当時のポスターなどが登場し、懐かしく思われた方も多かったのではないのでしょうか。

1975年に時代劇の復活を目指して誕生した東映太秦映画村についてもお話しされました。全盛期には入場者が年間260万人もありましたが、バブル崩壊や阪神・淡路大震災の影響もあり2001年には動員数が100万人を大きく割り込みました。しかし、子どもたちに時代劇を楽しんでもらうべく、時代劇要素を取り入れたキャラクターイベントを実施し、体験型有料アトラクションを新設するなど徐々に業績が回復してきました。様々なイベントを通して観光スポットをつないで展開することで、さらに盛り上げていく計画もあります。

最後は、映画村100年・太秦時代劇150年に向けて地域の方々と共に文化的な価値を高め、新たな時代劇が生まれるよう努力してまいります、と力強く締めくくりました。（副理事長 岸本 幸子）

## ■ 第37回文化交流部会「太秦の撮影所を俳優さんと探索」



台風2号の影響が心配されましたが、当日は前日の暴風雨とは違って変わり台風一過の爽やかな一日となりました。6月3日（土）13時、映画村入り口に集合したのは25人の会員。最初の挨拶のあとにレジメによる京都と映画の歴史を勉強して、入場すれば新選組・沖田総司の扮装をした俳優の平井力さんがお出迎え。いっぺんに参加者のテンションも上がろうというものです。そのあとは平井んの案内で、ふだん一般の人が入れない映画村隣の撮影所を見学しました。

撮影所で一番大きなスタジオやおなじみの『大岡越前』のお白洲、現代劇の『遺留捜査』の取り調べ室や署長室、どれもテレビでおなじみの場所を間近で見ることができました。また、スターの裏話や大部屋の役者さんたちの苦労話に、思わず一同「へえ〜！」の声を上げていました。通りすがりの巨石を何気なく叩いてみてその軽そうな響きにびっくりし、聞けば発泡スチロール製だそうです。しかも裾の方の苔だと思っていた正体がお茶の粉だと聞いてまたびっくり。撮影所とは異次元の世界なんですね。中庭の大きな駐車場には有名な俳優の名前がずらり。でも大部屋の役者さんたちは周辺の有料駐車場だそうです。チャンバラシーンは7時間撮影して使われるのは2分だけ。検視の場面では胸が動かないように息を止めるとかいろいろ貴重なお話を伺いました。最近は時代劇が減り、800人いた大部屋の役者さんも現在は150人ほどだそうです。日本の映画発祥の地である京都としては、なんとか持ち直してほしいものです。それでも、平井さんのユーモアあふれるお話に、大喜びの楽しい一日となりました。（理事 植山 政雄）

## ■ 「京都 都草のとおき」第4弾「辻子(ずし)や路地(ろーじ)をたどると京都が見える」



昨年度から始めた、都草視点で京都の新たな魅力を掘り起こし映像化して、広く一般に公開していく取組みも、多くの方の支持をいただいています。このたび第4弾を完成させリリースしました。「京都御苑」「水の都・京都」「俳句の聖地・落柿舎」に続き、今回取り上げたのは、京都の街中のあちこちに見かける、“辻子”や“路地”と呼ばれる狭い小道です。題して「辻子や路地をたどると京都が見える」。

古く平安京の条坊制に由来し、その後人々の生活に合わせて広がっていったもので、現在名前のついたものだけで京都市内に約100カ所あります。各辻子のいわれや変遷の歴史は、それぞれ個性的で非常に魅力的であり、ある意味で由緒ある史跡もといえます。ただ映像に撮ると、ほとんどの辻子は舗装された単なる細い道にしか見えないため、いかにして視聴者の興味を惹くようにまとめ上げるかという点には苦勞しました。幸い、都草には山本喜康氏という、かつて辻子を取り上げたNHK BSの番組にコメンテーターの一人として出演された、辻子のエキスパートがおられます。今回の作品ではその見識と長年の研究成果を大いに活用させていただき、ようやくまとめ上げることができました。

これまでの作品と作風が異なり、自然描写はほとんどなく、インタビュー映像を多く挿入するという初めての試みに仕上がっています。都草のホームページからアクセスできますので、多くの方に視聴いただき、ご意見や感想をお教えいただければありがたいと思います。(理事 久宗 圭一)

※ 辻子は図子と表記することもあります。

## ■ NPO 法人新現役ネット会員向け Zoom 講座実施中



NPO 法人「新現役ネット」は、商社、航空会社、新聞社などの大手企業が支援して設立され、シニア世代のセカンドライフを応援する会員制組織です。生きがいとなる社会貢献コミュニティ活動・国際協力など幅広く活動する会員のための情報提供・教育を行ない、また会員の健康増進・自己啓発のための講演会なども開催されています。会員の多くは首都圏在住ですが、京都ファン向けに、都草事務所から発信する Zoom 講座を提案し、昨年11月から実施しています。

- ❖ 第1回 京都探訪(総論)    ❖ 第2回 祭りと歳時    ❖ 第3回 文化(伝統工芸・花街・京都特有の風習等)
- ❖ 第4回 歴史(“やましろ”創生期から1400年)    ❖ 第5回 世界遺産
- ❖ 第6回 京料理・お菓子・ならわし

講師は京のこと語り隊のメンバーが中心で、上記の通り既に6回終了しました。大変好評で7月から新たに「エリア別」新シリーズを実施することになりました。「鞍馬・貴船」「大原」「洛北」「嵐山・嵯峨」「宇治」「洛中(東部)」各々について、その地域の史跡、伝承、四季の景観などを発信する講座です。これらは、毎月第1月曜日に実施日して講師が決定しています。

その後も同様に「京丹後・舞鶴」「西山」「洛中(中央)」「洛中(西部)」「山科・醍醐」「伏見・淀」を計画していますので、講師を希望される方は事務局までご連絡下さい。(理事 中島 孝和)